

6期ステップⅢ期の取組 学習委員会 「共に創る授業」

学校教育目標

豊かな学びを基盤とし、高い志と確かな人間力を持つ 実践力に富んだ生徒の育成
～ 高い学力・深い愛の心・堪え忍ぶ力 ～

I期の取組 「附中〇年生としての自覚を持ち、集団の基礎をつくる」を目標に、体育大会に向けて学級・学年の土台づくりを行った。常時活動の徹底に加え、生活委員会による特別活動を行い、大きな声でのあいさつや生活信条の唱和に取り組んだ。



II期の取組 「主体的に行動し、協働できる集団になる」を目標に、日常生活を自分たちでより良くする主体性を培う取組を行った。学びに向かう環境をつくるために、整美委員会による無言清掃の徹底を目指した特別活動や、奉仕委員による校外の美化活動、ペットボトルキャップや古切手、古本の回収に取り組んだ。



III期の取組 目標「I期、II期で培った実践力をもとに研究会で学びの成果を発揮する」

◆前半の取組「授業規律の徹底」～10(火)まで

各授業後に教科担当者による評価

項目 1. 着席・黙想 2. 授業前準備 3. 忘れ物 4. 聞く態度(授業態度)

◆後半の取組「共に創る授業」12(木)～27(金)

「各授業をクラスの重点目標を視点に振り返り、次の授業の目指す姿へと繋げる」

- ①授業後、授業(目指す姿)の振り返りを、重点目標を視点に、教科係が教科担当者で行う。
- ②振り返りと次の授業内容をもとに、次の授業の目指す姿を、教科係と教科担当者で考える。
- ③次の授業の黙想中に、振り返りと目指す姿を伝え、共有する。

「振り返りと目指す姿シート」

クラスの重点目標 顔を上げて話を聞き、40人の意見から学びを深めよう

振り返り(よかった点、改善点 → 次の授業に向けて)

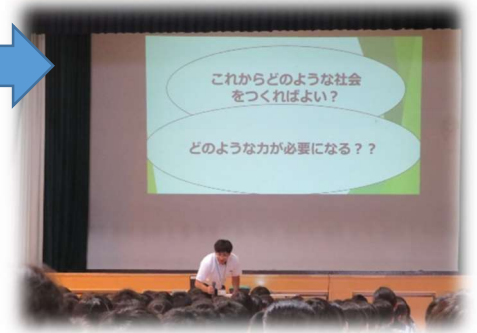
鑑賞の授業

- みんな興味をもって鑑賞していた
 - 班活動で活発な意見が出ていた
 - △友だちの意見に関心をもてていなかった
 - △班の意見が一人の意見になっていた
- 他の人の意見をしっかりと聞き、
考えを広げよう

◆取組の計画, 様子

8/28(水) 専門委員会

9/3(火) 全校朝会(「これからの社会, 求められる力」)



9/4(水) 学活(各クラスの重点目標を決める話し合い)



(水) 学活(各クラスの重点目標を決める話し合い)

9/9(月) 臨時学習委員会

9/10(火) 全校朝会(重点目標発表会)





9/11(水) 全校教科係会議

9/18(水) 重点目標を意識した授業の様子



9/26(木) Ⅲ期の振り返り



Ⅲ期 私たちの重点目標 1年 C組	様々な考えを身につける ～話す・聞く力～	振り返り
	設定理由(クラスの思い) 全校朝会で吉任先生の話を聞き、私たちが1年C組の課題は、話を聞いても考えが深められていないことであると分かりました。そこで、「話す・聞く」力から様々な考えを身につける考えを深めよう!ということも、この目標にしました。	
		

(広報委員会による取組の可視化)



1 A みんなで授業を創る

一人ひとりが考えをもち、それを発表を通して相手に伝えることで、どんな未来が来ても応用できる力を付けたいと思います。この取組を通して、みんなで授業を創る意識が高められるように頑張りたいです。



1 B 反応・共感・受容・思いやり

私たちのクラスは発表に対する反応が少ないため、自分の考えを発信しにくい雰囲気があるという意見が出ました。そのため、発表者に対して反応、共感をし、意見を尊重し合えるクラスになりたいという思いを込めました。



1 C 様々な考えを身に付ける

～話す、聞く力～

授業で発表したり、クラスメイトの意見を聞いたりすることで、多くの考えを知り、身に付けることができると考えました。自分の考えに様々な意見を加え、深めていきたいです。より活発な授業を創っていきます。



1 D 互いの意見を取り入れ合い、授業の理解を深めよう

I期、II期では、発言する人が決まっていた、意見をクラス全員で交流することができませんでした。全員が意見を発表し、交流することで考えが深まり、新しい考えを生み出すことができると思います。



2 A 思考・吟味・交流・吟味

まずは自分でしっかりと考えます。次に、その考えについて個人で再思考します。そして、互いの意見を交流し、交流して自分の意見がどのように変化したのかを考えることで、新たな考え方がつくり、これからの社会を創っていく力が付くと思い、この目標にしました。



2 B HTML

(have tell meet listen)

～意見をもつ、伝える、交流する、聞く～
クラスの仲間の意見を聞き、自分の意見をもち、交流することで考えを幅を広げ、周りに伝えることで、深い学習ができると考えたからです。自分の考えと相手の考えを大切に、互いに高め合える学習を目指します。



2 C 考える・交流・伝える

考える・交流する・伝えることを重視し、より主体的で活発な授業をつくることで、一人ひとりが広い視野をもち、新しい考えに気づくことができ、その結果、未来の社会を生き抜く力につながると考え、この目標を設定しました。



2 D S→R→E→C

～send, receive, exchange, create～
自分の意見を発信し、それをみんなが受け取る、そして、互いに意見を交換し合い、交流することを繰り返すことで、多様な考えを取り入れながら、自分の意見をより磨いていける主体的な授業を創ることができると考えました。



3 A 発言しやすい雰囲気になろう

みんなが消極的で、反応が少なく、発表者が意見を言いにくい雰囲気があると思います。そこで、発表者に体を向けて聞き、あいづち等の反応をすることで、みんなが意見を伝え合える雰囲気をつくり、授業を活発にし、学びを深め合いたいです。



3 B Let's think

周りと協力しながら発表しよう

授業中の挙手が少なかったり、発表者が固定化されているのが私たちのクラスの課題です。挙手を増やし、自分と他者の双方向に意見が飛び交う、より主体的な学びを創りたいと考えました。



3 C 顔を上げて話を聞き、40人の意見から学びを深めよう

I期、II期を通して、話を聞く態度や挙手をする人の固定化が課題です。そこで、このIII期は、顔を上げて互いの意見を聞き合い、考えを尊重し、受け入れ、40人みんなが意見を発信することで、主体的で、自分たちの考えが広がっていく授業を目指します。



3 D 時間を意識し、積極的に学びを深めよう

私たちの課題は、着席や黙想、移動教室のときの時間厳守ができていないことです。まずは基本である時間を意識します。そして、自分たちで課題を見つけ、探究することで、IV期、V期につなぎ、卒業に向かって成長できるよう、この目標を設定しまし